ご冥福をお祈りします

お名前	性別	亡月日	享年	地区
岩﨑　幸雄	男	2.1	80	(香)河野
片山　博	男	2.2	87	(物)押谷
豊永　主計	男	2.2	85	(山)北本町2
堀川八重美	女	2.4	90	(山)西本町3
小原　高實	男	2.5	77	(物)浦山
中村　博光	男	2.8	70	(山)戸板島
松原　潤地	男	2.9	89	(香)猪野々
池田　麗子	女	2.11	85	(香)横谷
本山　千枝	女	2.13	100	(山)東本町4
松原　清晃	男	2.14	81	(香)太郎丸
上島　正男	男	2.16	89	(山)植
小川　幸惠	女	2.20	92	(山)北組西
森知　憲正	男	2.26	41	(山)宝町2
五百蔵幸雄	男	2.27	72	(山)東本町4
小松　孝夫	男	2.28	62	(物)別府

※地区名の(山)は土佐山田町、(香)は香北町、(物)は物部町です。
※ご家族の同意をいただいた方のみ掲載しています。

お誕生おめでとう

赤ちゃん	性別	出生月日	父	母	地区
西岡　諒(りょう)	男	2.4	登	真由美	(山)北組西
西村　創士(そうし)	男	2.5	和記	愛里	(山)北組西
重森　柊吾(しゅうご)	男	2.20	健介	萌	(山)北組西
重山　千織(ちおり)	女	2.22	知則	美紀	(香)上町

市の人口　平成31年3月1日現在

総人口	26,253人	男	12,324人	女	13,929人
前月比	−20人		−5人		−15人
山田	20,046人	香北	4,455人	物部	1,752人
前月比	+1人		−9人		−12人
世帯数	13,032世帯	転入	43世帯	2月届出 出生	6人
前月比	−1世帯	転出	36世帯	2月届出 死亡	27人

木材市況

3月8日第332回市(物部)
2月28日第 93回市(香美)

材長	樹種／径級	スギ(円／㎥) 直・小曲	スギ(円／㎥) 曲	ヒノキ(円／㎥) 直・小曲	ヒノキ(円／㎥) 曲
4m	12cm下	9,000	9,000	11,000	10,000
	13cm〜14cm	10,000	9,000	15,000	10,000
	15cm〜16cm	12,000	10,000	20,000	16,000
	18cm〜22cm	15,000	13,000	17,500	16,000
	24cm〜28cm	15,000	13,000	17,500	16,000
3m	12cm下	8,000	8,000	10,500	9,500
	13cm〜14cm	8,000	8,000	12,000	9,500
	15cm〜16cm	14,500	9,500	19,000	14,500
	18cm〜22cm	15,000	13,500	17,500	15,500
	24cm〜28cm	15,000	13,500	16,500	15,000
2m	24cm上	8,500	8,000	9,000	8,500
6m	18cm〜22cm	18,000	16,000	25,000	23,000
市況	物部	スギ、全体的に横ばいだが、3mの15〜32cmまで引き合い強い。ヒノキは一部小安く、元類は横ばい。低質材は極力4mの造材をお願いします。			
	香美	スギ30cmまでは直・曲とも3m、ヒノキは3m4mで直材になる造材を。ヒノキ曲は4mが有利。暖かくなると虫害の心配もあるので、早めの出荷を。			
営業時間		月曜日 〜 土曜日　8時 〜17時（祝祭日休み）			

なお、上記の単価は1㎥あたりの平均単価です。

【問い合わせ先】
物部森林組合ストックヤード
（物部町中谷川314）☎57−3540
香美森林組合国見支所／繁藤ストックヤード
（土佐山田町繁藤140−7）☎57−9114

◆一般投稿作品◆　　岡崎桜雲　選

五線譜を奏でるごとく桜舞ふ　　中村　紫乃
凍える手類で暖め調理する　　畠山　千江
梅の花もののけ誘う曇り空　　原　　茂
残生は気骨一本冬木立　　森本　幸美
サザンカの散り敷く道や足を止め　　山﨑　寿美
春霞吉井勇の歌碑巡る　　山﨑　貴子
南国の今日の大雪止み知らず　　五百蔵利美
冬の風避ければ猫と出会ふ角　　秋山　英身
長き夜を古びし父の広辞苑　　大場比奈子
昔落葉今トースター芋を焼く　　岡本　初美
絵手紙の色鮮やかに紅椿　　秋　　星
山積みのこんなに売れる恵方巻　　吉川　恵
その中の白がうれしき鼓草　　東　　月
七十路の素振り百回大晦日　　高田　稔
小走りに二ン月去りぬ黄水仙　　上池　児末
冷めぬよう夫のむつきを懐に　　小原　子川
今日も雨春への一歩デイに行く　　荒木　景子
人を待ち人に待たれる桜花　　三谷　誠郎
春きざしスピード上げて走りぬけ　　楮佐古きよ

◆美良布俳句会◆

春炬燵(はるごたつ)人の気配に身を正す　　岡本かほる
虫塚のほこらを守(もり)て寒椿　　明石ゆきゑ
のどけしや瞑(つむ)りて穿(ほじ)る耳の穴　　北村　幸子
沖を黒潮早や岬霞(かす)む土佐の国　　甲藤　卓雄
梅の花土塀の向かふ蔵残り　　北村　里子
切干しの日向の匂い祖母の背な　　小野川順子
梅まつり学童も句に親しめり　　前田　芳子
老の手に赤子柔らか春立ちぬ　　中内ゆかり
潮騒を聴きし昔も梅二月　　高田　米子
買い戻る二人のおでん夕餉(ゆうげ)かな　　竹内　ろ草

◆かがみ野俳句会◆

七郷(ななさと)をむすびて滔滔(とうとう)水温む　　古川　信子
春眠や昭和平成夢の中　　利根　弘子
脈々と村の生活懸大根　　山﨑　鈴子
如月や少女がひとり無人駅　　坂元　道子
ジャズライブの熱き余韻や寒昴(かんすばる)　　佐竹　洋子

◆かほく俳句会◆

昼月の和紙の白さの二月かな　　乾　　真紀子
袋縫ひ折れし針なり針供養　　奥宮かなえ
一点のいつはりもなし梅真白　　黒岩千英子
前向いて生きる他なし春立てり　　久保内鏡子
梅咲くや牛の「子出し」と言ふ暮らし　　小松　隆之
二ン月の風柔らかし韮生郷　　小松　昇
寒鰤(かんぶり)の刺身に土佐のぬたを添へ　　杉山　春萌
立春やくるりと廻る逆上り　　野村　里史
沖をゆく舟の哀楽浮寝鳥　　津田吾燈人
田畑を山に転用春めきぬ　　前田　欣一
春耕や失せゆく村の細き道　　前田　智
濡れづめの水掛け不動春立ちぬ　　間崎　和代
漱石が傷まみれなる猫の恋　　宮崎ただし
立春や巡礼コース決まりたる　　宗石　愛喜
天辺の初音ふもとの梅ノ久保　　森本　之子
豆撒(まめまき)の声無き地域高齢化　　山中　明石
名草の芽色を極めて埋(うず)みをり　　山﨑かずみ

◆土佐山田町俳句会◆

抜け落ちしままの草屋根梅白し　　明石　韮生
鷹の目のきっと水面に走る時　　西内　道彦
ぽたぽたと乾く心に春の雨　　安丸　槇子
梅の香や今のぼりゆく城の風　　前田美智子
どこからか鳥現れる春田打ち　　笹岡　英世
春火鉢だった日もあるメダカ飼う　　樫谷　雅道

今月のキラリ　ー広報委員会ー

今日も雨春への一歩デイに行く

厳寒から三寒四温を経て春を迎える。立春。この頃から雨の日が多く、一雨ごとに春の気配が濃くなってゆく。今日も雨。明るい気分でデイサービスの送迎バスに乗り込む。

俳句・短歌の投稿方法

▼投稿方法は自由。住所、氏名、電話番号を明記してください。
▼俳句は偶数月、短歌は奇数月に掲載します。掲載月の前月の1日までに投稿してください。
▼誌面の都合により掲載されない場合があります。なお、選者の添削を不要とする方は添削不要と記してください。

【投稿先】総務課内広報委員会事務局「俳句・短歌」係
〒782−8501（住所記載不要）
FAX 53・5958